

令和7年度 第4回可美小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年2月6日（金）10：00～12:00
- 2 開催場所 可美小学校 会議室
- 3 出席委員 大畑耐智子 小野田和弘 杉本真弓 小野田哲也 山本浩司
越川真優子（学校支援CD兼務）
- 4 欠席委員 神田綾乃（学校支援CD兼務）
- 5 オブザーバー 小野田康弘（浜松市議会議員）村上昌義（可美協働センター長）
- 6 学 校 鈴木右二（校長） 高木悦代（教頭） 浅井美幸（主幹教諭）
長谷川明美（CS担当教諭） 河合昭子（CSディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 河合昭子
- 9 開催要件の確認 司会の高木教頭から委員総数7名のうち6名の出席があり、過半数に達しているので会議が成立している旨の報告があった。
- 10 議長選出 大畑会長で前回決定している。全員了承。
- 11 協議事項 (1) 学校関係者評価
(2) 次年度学校運営の基本方針について
(3) 学校運営協議会の自己評価

12 会議記録

(1) 学校関係者評価 浅井主幹より資料に基づき説明があった。

①「学び合う子」授業が核。9割の子どもが楽しく授業に参加していて、授業理解できていると答えているが、それ以外の子にどう向き合っていくか研修していきたい。

②「認め合う子」安心して学校生活を送っている。言葉遣い、あいさつは意識して取り組めた。

③「高め合う子」外遊び、好き嫌いなく食事が評価低い。

いじめについて、些細な変化に敏感になる。職員全員で振り返りを行った。早期発見、未然防止が重要。夏の評価をありがたく思っている。

委員から以下の意見があった。

○ちょっとした表現がいじめになることもある。むずかしい。（山本委員）

○名前を呼び捨てで呼ぶこと。言葉でいじめられていると感じる子もいる。学校ではいじめ防止基本方針に基づき対応してくれているが、困ったことがあったら、CSで周知してほしい。

（大畑会長）

→いじめの認知件数増えている。（本人の訴え、アンケート）（校長より）

○何でもかんでもいじめというのはどうか。（小野田哲也委員）

○いじめはなかなかなくなる。認知件数が増えたということは、潜在的にあったものが表に出てきているだけで、教職員で意思疎通が出来ているのではないか。（小野田オブザーバー）

○何をもっていじめとするか。人によって違う。自分はそんなつもりじゃないけど、それを嫌と思う子がいるということを知ることが大事。嫌だと言えることが大事。件数が多いのは風通しの良い学校だと思う。評価の低い給食の残菜は多いのか？（杉本副会長）

→無理に食べさせると学校を嫌がる子がいるので、指導が難しい。（浅井主幹より）

○好き嫌いあるのは当たり前。なくすのは無理だと思う。少しでも食べられるといい。質問の仕方が厳しいのではないか？（杉本副会長）

○保護者の意識が大切だと思う。（小野田オブザーバー）

○みんなと食べれば食べられる。（山本委員）

○先生は、食べさせないと思わなくていいと思う。（大畑会長）

(2) 次年度学校運営の基本方針について

グランドデザインに基づき校長より説明があった。

①楽しい学校にしたい。通常学級、なかよし、はあと 居場所だらけの学校。日課を統一する（特別日課は無し）。

②登校渋り、遅刻も多い。学校生活では、時間を守ることができる。楽しいことを企画する。先生たちは、子どもたちに失敗させないように、もめごとがないように言葉づかいなどにも気を付けている。子どもは些細なことに敏感になっている。くじけたり、上手くいかない時、立ち直る経験が大切。乗り越えていく力をつけ、たくましく、しなやかに生きる子どもを育てたい。今年度、CSのボランティアも活発で、ブックファミリーも次年度CSに取り込んでいく。

委員からは以下の意見があった。

○たくましくしなやかに育てるキーは親。親の理解。親が責任を持つ。学校の方針と家庭の方針がうまく合えばよい。（杉本副会長）

○失敗するのが嫌（1年生）できると自信になる。失敗して学ぶこともある。（山本委員）

○子どもは失敗しながら解決することを学んでいく。学ばないといつまでも子どものままで大人になった時、困る。次の子どもたちに教えていけない。（小野田哲也委員）

○何でも手厚くしすぎて、大人になって失敗するとまわりや社会のせいにするようになると思う。（越川委員）

○きめ細やかな対応をすればするほど教員が足りない。難しいこと。失敗をどのように乗り越える教育をされるのか注目している。（村上オブザーバー）

基本方針について全員一致で承認された。

○小学校がやりたいことをもっとCS委員、地域におろしてくれるといい。（小野田和弘委員）

→現在は保護者を中心としたボランティアだが、今後は地域に広げていきたい。（長谷川教諭）

(3) 学校運営協議会の自己評価

来年度の目標をどうするか。今年度の目標の一つ、地域住民への情報発信は出来ている。

- ・ボランティア等地域社会との連携による学校支援体制の拡充
- ・グランドデザイン「美しい心でともに未来に向かって輝く子」の実現に向けての熟議を進めていく。

この2つの目標に全員一致で承認された。

13 報 告

CSコーディネーター越川委員より活動報告があった。

1月からは、学習支援ボランティアはなかった。年度末、ボランティアさんへの感謝の気持ちのメッセージを子どもたちに書いてもらった。ありがとうキャンペーンを行い、掲示した。入学説明会でCS紹介のチラシを配る予定。来年度も引き続き支援を続けられるようご協力をお願いします。

14 連 絡

- (1) 高木教頭より夢育やらまいかCS加算分使途の報告があった。
- (2) 令和8年度 第1回 学校運営協議会
令和8年5月13日(水) 10:00~12:00 きくももホール
- (3) 退任者あいさつ
今年度で退任される山本浩司委員よりあいさつがあった。